

施設野菜の太陽熱土壌消毒の 温度不足が予想されます

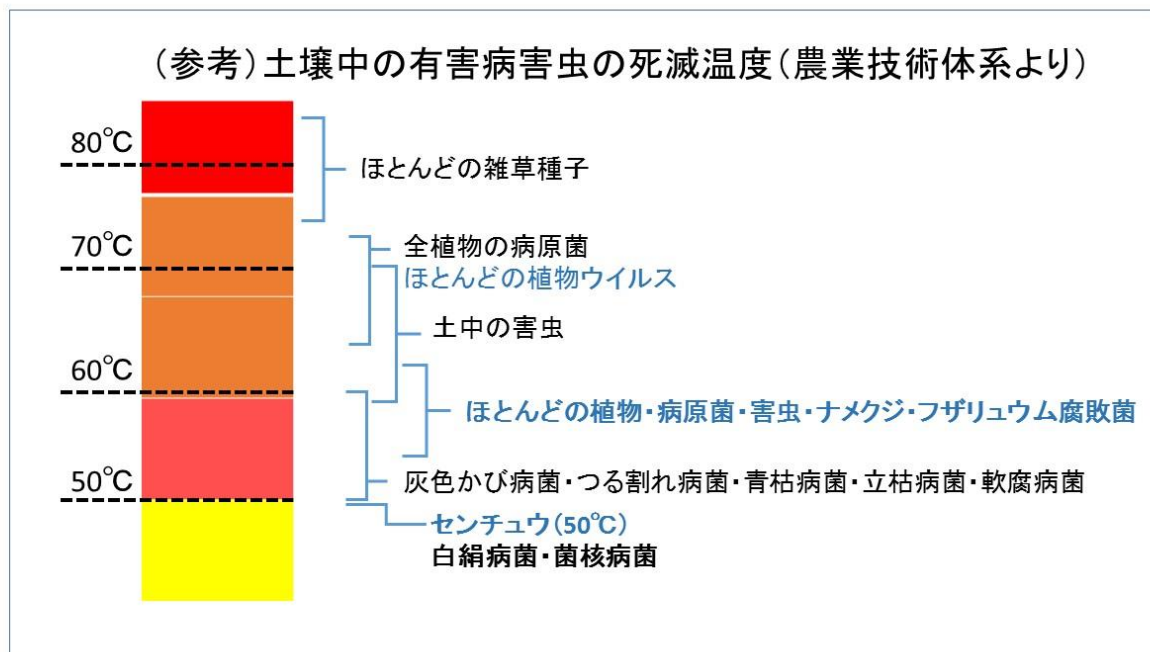
令和2年7月27日
加須農林振興センター

土壌伝染性の病害虫に注意！ = 7月の日照不足で地温が上がっていません =

【現在の状況】

気象庁 久喜観測所の7月1日～25日の日照時間は43.8時間でした。平年値と比較すると40%しか日照がない状況です。また、最高気温も低く推移しています。7月27日現在も梅雨が明けていないため、7月末まで、日照不足の状況は続きます。

7月に太陽熱土壌消毒を実施している施設栽培の場合、有害病害虫の死滅温度の目安の60℃まで土壌内部の温度が上がっていない状況が予想されます。



【注意すべきポイント】

- 8月上・中旬からの栽培で、土壌消毒が太陽熱消毒のみの場合は、土壌病害虫が死滅していないことを想定し、病気の早期発見、予防に努めます。また、DC油剤と太陽熱消毒の組み合わせの場合も、病原菌の死滅が不十分な可能性を想定してください。
- 8月下旬以降からの栽培では、土壌還元消毒又は薬剤を併用した土壌消毒を検討してください。
- センチュウ剤を全面土壌混和で使用する場合は、所定量の薬剤をほ場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するように、耕耘を2回行うようにしてください。

土壌消毒剤の適用状況

令和2年7月27日現在

薬剤名	病原菌	センチュウ	雑草
DC油剤、D-D		○	
キルパー	○	○	○
ディ・トラベックス油剤	○	○	○
ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤	○	○	○
クロールピクリン	○	○	○
クロピクフロー	○	○	

※農薬使用の際は、ラベル表示を必ず確認し、
飛散防止・農薬使用記録の記帳に努めましょう。